

ヘルメットよし！思いやりよし！自転車安全利用推進校へ

本日、富山県警察より「自転車安全利用推進校」の指定を受け、指定式が行われました。

式では、富山県警察本部交通部長の古川秀治様から、自転車は高校生をはじめ多くの人が日常的に利用する身近な移動手段であるからこそ、周囲への思いやりを持って安全に利用することが大切であるとお話がありました。また、自転車乗車時のヘルメット着用についても呼びかけがあり、「交通安全を自分自身のこととして捉え、県内の高校生の模範となしてほしい」と激励の言葉をいただきました。

山口校長は、「自転車を安全に利用することは、自分自身の命を守るだけでなく、周囲の人の安全を守ることにもつながる。安全は誰かに守ってもらうものではなく、一人ひとりが自ら守っていくことが大切である」と生徒に呼びかけるとともに、本校を推進校に指定していただいた富山県警察の皆様へ感謝の意を述べました。

最後に、後期生徒会会長の岩本敏聖さんが生徒を代表して、今回の指定を機に交通安全への意識をさらに高め、今後も自転車の安全利用に努めていくことを宣言しました。

今回の指定を契機として、生徒一人ひとりが交通ルールやマナーについて改めて考え、安全で思いやりのある自転車利用を実践していきます。

